

パブリック・サービス研究分科会 4月例会	
「大学図書館協力の歴史と日本の大学図書館協力の可能性」研究グループ報告書	
日時	2009年4月20日(月)16時半～17時?
場所	成城大学図書館4階会議室
記録	植苗(中央大学)
参加者	塩瀬(女子栄養大学) 中島(桜美林大学) 山口(実践女子大学) 植苗

前回までの進捗状況

当グループでは昨年の夏季合宿において以下のような研究の計画を立てた。すなわち、まず欧米・日本でこれまで行われた、あるいは現在行われている大学図書館(大学図書館⇔公共 or 専門図書館も含む)協力について洗い出し、それらの歴史的背景や成功・失敗の理由を明らかにする。その上で日本の大学図書館界の特徴を明らかにし、それに合った協力の形を提案する、というものである。

それに基づき、昨年秋までは各自持ち寄った文献を回覧して図書館協力の大きな流れを把握する作業を進めた。しかし研究の土台となる知識と認識をより効率よく共通化するため、Web上の共有フォルダに文献リストと図書館協力年表を作成する、あるいは必要であれば文献の抜粋をアップロードする、という方法が発案され、4月まではこれに沿って作業を続けてきた。その結果年表は70項目、文献リストは130件ほどの蓄積ができ、年表の全てと文献の一部がキーワードによってソート可能な状態になっている。

例会当日の作業内容と次回までの課題

例会においては塩瀬メンバーから図書館協力の形態と具体的なサービスについて事例を挙げてまとめた文書が配布され、説明があった。これを受けてグループ内で協議した結果、テーマを絞り込んで研究する時期に来ていること、各自で研究の枠組みを構想し4月中に共有フォルダにアップロードすること、またそれらを比較検討して5月例会で今後の方向性を定めることを確認した。

以上